

# WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

## 月間運用実績レポート（2026年3月）

### ■ パフォーマンス

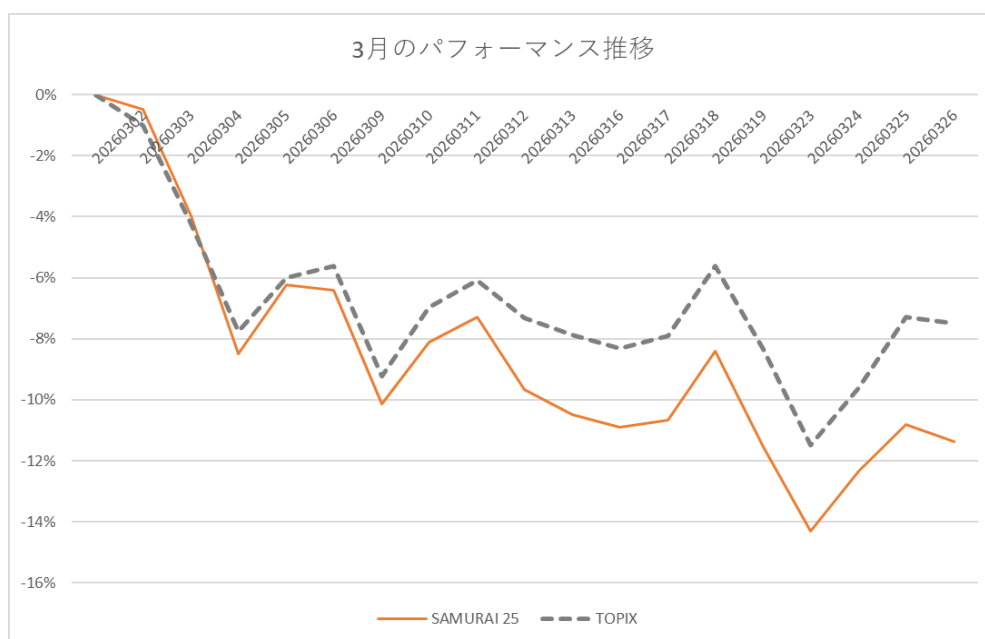
#### ➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	▲13.42%
------------	---------

#### ➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	▲11.19%	(配当込み)	▲10.33%
日経225	▲13.23%		
NYダウ	▲5.38%		
S&P500	▲5.09%		
NASDAQ	▲4.75%		

#### ➤ 3月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI 25	-13.42%	3.72%	17.53%	50.70%	206.16%
TOPIX	-10.33%	3.64%	12.78%	34.65%	127.46%
超過収益	-3.09%	0.08%	4.75%	16.05%	78.70%

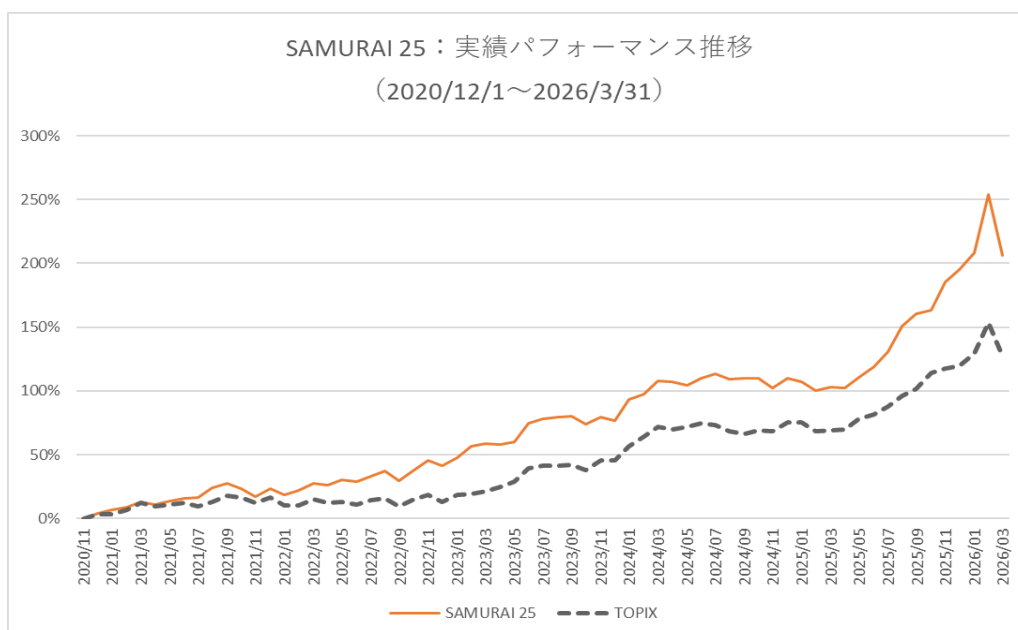
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

**SAMURAI 25の3月の運用成績は▲13.42 %（配当込み）、TOPIX ▲10.33 %（配当込み）、対ベンチマーク比で▲3.09 %となり、ベンチマークをアンダーパフォームする結果となりました。**

➤ **設定来のパフォーマンス推移グラフ**

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2026年3月末までの運用実績です。



運用成績	SAMURAI 25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	40.72%	25.46%
年間リターン(2026年)	3.72%	3.64%
累積リターン(2020/12-2026/3)	206.16%	127.46%

リターン（年率換算）	23.34%	16.66%
リスク（年率換算）	14.63%	12.28%
下方リスク(年率換算)	7.74%	6.91%
シャープ・レシオ	1.60	1.36
ソルティノ・レシオ	3.02	2.41

※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

## ■3月の市況概況

### ➤ 日本市場

3月の日本市場は、中東危機に伴う原油高・円安の進行と、それに伴うスタグフレーションへの警戒、さらには日銀の追加利上げ観測の浮上から、乱高下を伴う歴史的な急落相場となりました。

#### ・第1週（3月2日～3月6日）／日経225：▲5.49% TOPIX：▲5.63%

##### イラン情勢緊迫化を受けリスク回避の売りが殺到

イランと米・イスラエル間の軍事衝突を背景に、ホルムズ海峡の封鎖と原油価格急騰への懸念からリスク回避の売りが殺到しました。日経平均株価は一時2600円超、3日間で4600円超の暴落を記録し、相場を牽引してきたAI・半導体関連銘柄を中心に利益確定売りが膨らみました。週末にかけて押し目買いで持ち直したものの、原油高と1ドル157円台の円安が輸入インフレ懸念を増幅させる展開となりました。

#### ・第2週（3月9日～3月13日）／日経225：▲3.24% TOPIX：▲2.36%

##### 原油高の直撃で歴代3位の下落幅を記録後、自律反発を交え乱高下

週初はイランの新最高指導者選出に伴う関係悪化懸念から原油先物が一時119ドル台に高騰し、日経平均株価は歴代3位の下げ幅となる2892円安を記録、株安・債券安・円安の「トリプル安」となりました。その後、米国の軍事作戦早期終結示唆などで原油が急落すると、半導体関連などを中心に1500円超の急反発を見せました。海外投資家の中長期的な買い越し姿勢や個人の押し目買いが相場を下支えしました。

#### ・第3週（3月16日～3月19日）／日経225：▲0.83% TOPIX：▲0.54%

##### 原油高懸念から上値が重い展開が続くも、日銀会合通過でアク抜け

ホルムズ海峡の封鎖長期化による生産活動への悪影響が警戒され、設備投資関連や半導体株を中心に売りが先行し、日経平均株価は4日続落となりました。一方、日銀の金融政策決定会合では政策金利の0.75%据え置きが決定されました。上田総裁が利上げ路線維持の意向を示したものの、一旦の不透明感払拭と、春闘における大企業の満額回答が相次ぐ高水準な賃上げが好感され、週末にかけては5日ぶりに反発し5万5,000円台を回復しました。

#### ・第4週（3月23日～3月27日）／日経225：+0.001% TOPIX：+1.12%

##### 米ハイテク株安と追加利上げ観測から再び下値を探る展開

トランプ大統領によるイラン発電所への攻撃示唆を受け、中東情勢の緊迫化が再び警戒され、主力株を中心にリスク回避の売りが広がりました。為替が1ドル160円目前まで円安に振れる中、日銀の早期追加利上げ観測が高まり、10年物国債利回りは2.38%台まで上昇しました。さらに米国の半導体株安が波及し、東京エレクトロンなどの関連株が売られ、配当取りの買いなどを交えつつも全体的に軟調な推移となりました。

#### ・第5週（3月30日～3月31日）／日経225：▲4.33% TOPIX：▲4.16%

##### 地政学リスクの極まりで5万1,000円割れ、月間下落幅は過去最大に

米軍の地上作戦の準備やイランの原油輸出拠点占領の可能性が報じられ、地政学リスクが極限まで高まりました。原油先物が103ドル台まで高騰したことで、インフレと景気悪化懸念から日経平均株価は再び急落、一時、今年の最安値を更新する5万1,000円割れとなりました。3月の月間下落幅は7,786円安と過去最大を記録、一方、為替は1ドル

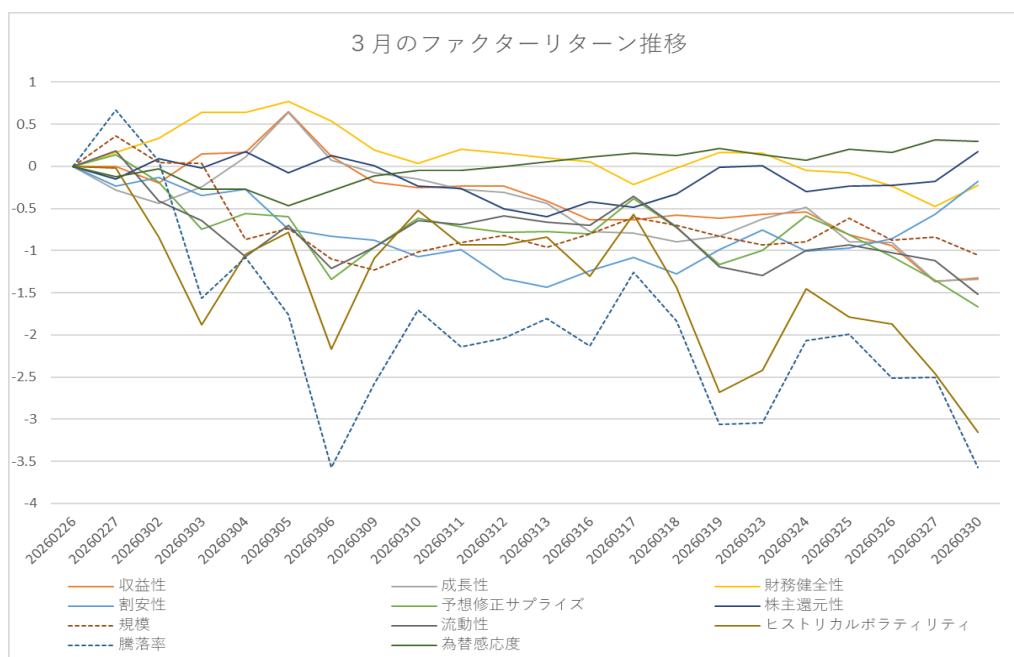
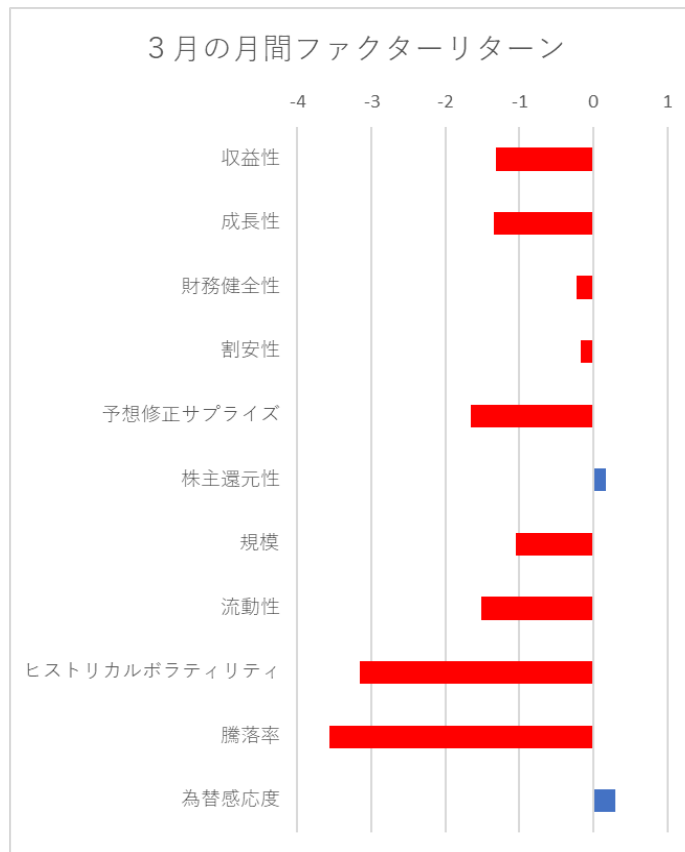
160円台に乗せましたが、介入警戒感から神経質な展開で月を終えました。

## 月間パフォーマンスの背景

### ➤ ファクター動向

3月は、出遅れ傾向にあった低価格変動リスクの低業績・小型株が相対的に堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、騰落率ファクター・ヒストリカルボラティリティファクター・予想修正サプライズファクター・成長性ファクター・収益性ファクター・規模ファクターが軒並み大幅マイナスとなり、中東情勢の泥沼化により、2月まで市場を強く牽引していた好業績のモメンタム銘柄群が強烈に売られる一方で、それとは真逆となる、出遅れ傾向にあった低価格変動リスクの低業績・小型株が「売り物が出ないため」相対的に堅調となったことが見て取れます。



➤ **ファクター寄与度**

そのような市況環境のなか、**SAMURAI 25は**、市場平均であるTOPIXをアンダーパフォームする結果となりました。

SAMURAI 25がTOPIXをアンダーパフォームした要因は、

2月とは真逆となり、SAMURAI 25が持つバリュー要素の「割安・高配当」特性がマイナスに寄与、さらに、市場平均よりも「オーバーウエートしている予想修正サプライズファクター（＝好業績特性）」や「オーバーウエートしている騰落率ファクター（＝強モメンタム特性）」もマイナスに大きく寄与したためです。

3月は、中東情勢の緊迫化による急激なリスクオフから、これまでとは全く逆の展開となり、上昇が続いていた好業績銘柄ほど利益確定売りを浴びました。

中東地域の戦闘激化によって産油国の石油インフラが破壊されており、戦争が終結したとしても、原油供給量の絶対量は減少するため原油価格はしばらく高止まりし、インフレが長期化する可能性は排除できない状況です。

これにより、成長が期待されていた銘柄群への業績悪化リスクの織り込みが一巡するまでは下落が続く可能性はありますが、極端なリスクオフに巻き込まれないよう冷静になる必要があると考えています。

日本企業への期待は依然として高い状況であり、十分にリスクが織り込まれば、これまでと同様、再びこれら本質的価値のある銘柄群へ資金が向かうのではないのでしょうか。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度
1	8628	松井証券	5.1%	0.06%
<p>ネット証券の草分け的存在。個人投資家向けの取引プラットフォームを提供。手数料体系のシンプルさや独自の預かり資産サービスに強み。株式市場の活況を受け、口座数や預かり資産残高は堅調に推移しています。</p>				
2	8591	オリックス	1.6%	▲0.04%
<p>リースを祖業とし、不動産、銀行、生保、航空機リースなど多角的に展開。株主優待制度を廃止し、配当や自社株買いによる直接的な利益還元へシフトしており、高い株主還元姿勢がポジティブに評価されています</p>				
3	7752	リコー	1.8%	▲0.06%
<p>複合機（MFP）で世界大手。「デジタルサービスの会社」への転換を掲げ、ITサービスやオフィス DX支援に注力。サービス事業の伸長により底堅く推移しており、DX事業の成長と既存事業の維持のバランスが評価されています。</p>				
4	6209	リケンPR	2.6%	▲0.06%
<p>2023年にリケンと日本ピストンリングが統合して誕生。ピストンリングで国内シェアの大半を占める。EVシフトを見据え、非エンジン事業や水素関連など新領域への多角化を推進。高い配当利回りも評価されています。</p>				
5	2121	MIXI	4.4%	▲0.12%
<p>ゲーム『モンスターストライク』が主力。SNS『mixi』や家族アルバム『みてね』のほか、スポーツ・公営競技事業を展開。アプリ運営の効率化や不採算事業の整理により、直近では純利益率が改善傾向にあります。</p>				

## ■SAMURAI 25の目的・特色

### 1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

### 2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

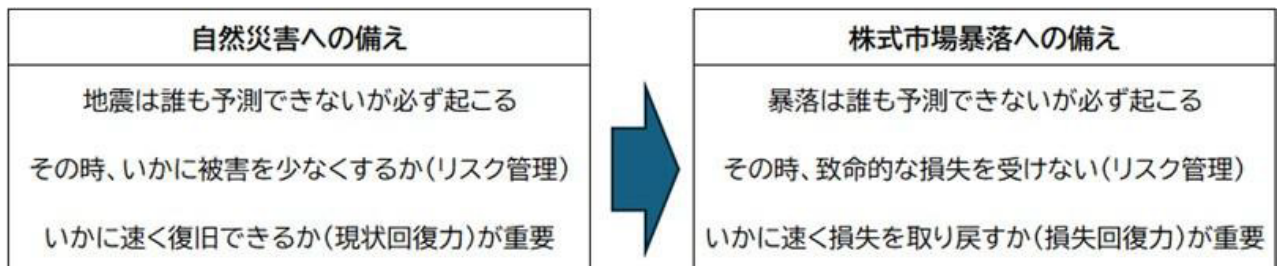
特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX ±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

### 3. 戦略のコンセプト

#### **・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、**

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



#### **・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、**

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

#### **・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化**

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」

### 4. ファクターの説明

SAMURAI 25は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	財務健全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
4	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
5	予想修正サプライズ	経常利益修正率、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	規模	上場時価総額、等
8	流動性	売買代金20日平均、等
9	ヒストリカルボラティリティ	ヒストリカルボラティリティ60日、等
10	騰落率	60日騰落率、等
11	為替感応度	ドル円に対する感応度

## 5. リスク管理

SAMURAI 25は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的にリバランスを行いリスク管理を行っています

以上

※本レポートは、2026年 4月6日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)

## 免責事項

### ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

#### <業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

#### 【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

#### 【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

### 重要事項

#### <手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

[投資一任契約の媒介業者]



Jトラストグローバル証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号  
 加入協会／ 日本証券業協会  
 一般社団法人資産運用業協会

[口座管理機関]



株式会社スマートプラス  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号  
 加入協会／ 日本証券業協会  
 一般社団法人資産運用業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会